

## 平成30年度県当初予算(案) 〈教職員多忙化改善関係〉

### 1. 教職員の多忙化改善に向けた取組

- |   |           |
|---|-----------|
| (1) 学校現場の業務改善の推進  | 6,500 千円  |
| <b>①多忙化改善実践推進校の指定</b> (4,500 千円)<br>・多忙化改善に向けた取組の牽引役として推進校を指定し、業務改善に向けた取組を実践・検証し、その成果を他の学校に普及<br>(推進校:小・中学校各3校(3市町)・高等学校3校)       |           |
| <b>②市町や学校ごとに様式が異なる備え付け表簿等の電子化・標準化</b> (2,000 千円)<br>・出席簿や健康診断票等、市町や学校ごとに異なる様式を電子化・標準化し、教員の作業負担を軽減                                 |           |
| (2) 部活動指導員のモデル配置  | 12,500 千円 |
| ・教員 OB や外部指導者を部活動指導員としてモデル配置<br>[ 中学校:45人(教員 OB 42人、外部指導者 3人) ]<br>[ 全日制高等学校:3人(外部指導者 3人) ]<br>・部活動指導員研修会の開催<br>・外部指導者指導力向上講習会の開催 |           |
| (3) スクール・サポート・スタッフのモデル配置  | 36,876 千円 |
| ・授業準備や資料作成など教員業務を補助する非常勤職員を多忙化改善実践推進校及び各市町の大規模中学校に配置(30人)   |           |
| (4) 地域の学校への理解・協力の推進   | 3,100 千円  |
| <b>①地域と学校の新たな連携体制構築モデル事業</b> (1,600 千円)<br>・地域と学校の役割分担を点検・見直しし、地域住民等の参画による地域と学校の連携・協働のモデルづくり(3市町、6地区)                             |           |
| <b>②教職員の多忙化の現状と改善に向けた取組方針の理解促進のためのリーフレットの作成・配布</b> (1,500 千円)<br>・保護者や地域の方々に15万部を配布予定   |           |

### 2. その他関連する取組

- |  |      |
|--|------|
| (1) 小学校英語専科教員の配置   | 10人  |
| ・新学習指導要領の実施に伴う授業時間数増に対応した国の加配定数  |      |
| (2) スクールカウンセラーの配置拡充  | 10人増 |
| ・多様な社会的背景により課題を抱える児童生徒に対する教育相談の充実<br>小学校への配置数を拡充(10人増、30校増)<br>【H30年度配置予定】93人<br>(小学校170校 中学校82校 義務教育学校2校 高等学校21校) |      |